



第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 宮崎 陽市郎（東京三鷹 RC）

ロータリー会員の皆様お元気ですか、ARPIC の宮崎陽市郎です。

所属は東京三鷹 R C です。今月のコーディネーターNEWS では、「ポリオ根絶活動をどのようにロータリーの公共イメージ向上につなげて行くか」という私の個人的な活動を紹介したいと思います。

皆様の記憶に残っていると思いますが、2020 年 8 月 25 日に世界保健機関 (WHO) がアフリカ地域での野生株ポリオウィルス根絶宣言がされ、この歴史的出来事をマスメディアでは大きく取り上げて報道されました。しかしどの番組や記事を見ても「ロータリークラブ」という言葉は使われませんでした。嬉しさと、残念さが入り混じり憤りさえ感じたことを今でも覚えています。これをきっかけに私は決意したのです。ガバナーエレクトであった 2022 年 10 月にロータリーの取り組んでいるポリオ根絶活動の周知と寄付を募るため、「ポリオ根絶日本縦断サイクリングチャレンジ」として、北海道稚内から鹿児島県の佐多岬まで 2700 キロを 23 日間で走破しました。当時の佐藤 RI 理事のお声かけで、各地区のガバナーやガバナーエレクトの協力を得て、新聞やテレビの取材を受け、寄付も 2000 万円を集めることができたのです。

翌年のガバナー年度には、新潟柏崎から東京の有明まで走るサイクリングチャレンジ行い、私ども第 2750 地区のポリオ根絶イベント会場にゴールいたしました。4 月には大阪から日本橋までの 520 キロを 30 時間で一気に走るチャレンジを決行しました。

昨年の 2024 年 10 月の世界ポリオデーに合わせ、二度目の日本縦断サイクリングチャレンジを北海道根室から長崎県佐世保の神崎鼻岬まで 2700 キロを 22 日間で走破しました。

北海道釧路では NHK の取材を受け、その日の夕方には何度もテレビで放映されました。この年は、Raise for Rotary というサイトで寄付を募りました。このサイトはクラブや個人の活動を紹介し SNS で活動を発信し、ロータリー以外の方の寄付を募り、又ロータリー会員の寄付はご自身のロータリー財団への寄付実績になります。チャレンジ・お祝い・記念日・自分の得意なことを行い、サポートしたい内容を選ぶことができます。例えば、ポリオプラス基金・ロータリー災害救援基金・WF(国際財団活動資金)・7 つの重点分野への寄付を募ることができるのです。

日本では個人の活動で寄付を募る文化はあまりありませんが、海外ではよく行われています。世界を変える行動人としてクラブでの奉仕活動、そして個人の活動を友人やロータリー会員以外の方に伝え、ロータリークラブのイメージ向上を図ろうではありませんか。

マスコミはクラブや地区の活動、ましてロータリークラブという団体の名前はなかなか発信していただけないですが、インパクトある活動は取り上げていただけます。自ら行動するのがロータリーです。

